当社の事業活動について

|R 西日本グループ統合レポート 2022 12

# JR西日本グループの価値創造モデル

社会の構造や人々の価値観が大きく変わりつつある事業の転換期において、今後JR西日本グループがどのような価値を創 造し続けるのか描いていくために、現在検討中の価値創造モデルを示しています。

ステークホルダー各々にとっての価値をさらに高めていくには、JR西日本グループがどのような事業領域を伸ばし、さらには どのような新たな事業に挑戦することができるのか、ステークホルダーの皆様とともに議論を深めていきたいと考えています。

IR西日本グループの現状のビジネスモデルは、鉄道の安全性・利便性を向上するとともに、鉄道を中心に駅周辺で人の 流れを作り、商業や不動産でシナジーを高めています。コロナ禍を通じて不動産以外の事業は「移動」への連動性が高く、 移動が縮小すれば共に厳しくなる事業構造が浮き彫りになりました。今後は、鉄道の活性化を図るべく、安全性の向上や 収支両面の構造改革、新幹線を中心にした移動需要創出に取り組みます。また、地域まちづくりをさらに進め、シナジー拡 大と需要を創り出すことも強化していきます。さらに、膨大な顧客接点を活かし、個客ニーズに寄り添ってシナジーの範囲 拡大を図るデジタル戦略を進めます。加えて、これらの取り組みを通じた強みを活かして、移動に連動しない新たな事業領 域にビジネスの幅を拡げていくことにより、「人々が出会い、笑顔が生まれる、安全で豊かな社会」を実現していきます。

運輸業

P.31 \

鉄道

流通業

物販・飲食

百貨店

不動産業

不動産賃貸·販売

SC

その他

P.39 \

ホテル

#### アウトプット 事業活動 インプット アウトカム 特徴的な立脚資本 独自のケイパビリティ 人、まち、社会をつなぎ、 活力をもたらす事業 事業概況 P.29 \ 移動に連動しない課題解決 移動と出会いを活力に

財務基盤の健全性 製造資本

> 交通ネットワーク、 まちづくり拠点、不動産

財務資本

キャッシュ創出力

多様で日常・非日常にわたる 顧客接点

知的資本

複雑なインフラを 安全かつ安定的に 構築・運営する技術・組織

イノベーションを共創する パートナーシップ

社会的·商業的 コンテンツ編集ノウハウ

# 人的資本

人財の多様性

人財開発·育成 (データ分析力含む)

## 勵社会関係資本

お客様・地域とのつながり

## 自然資本

エリア内に存在する 自然·景観·文化

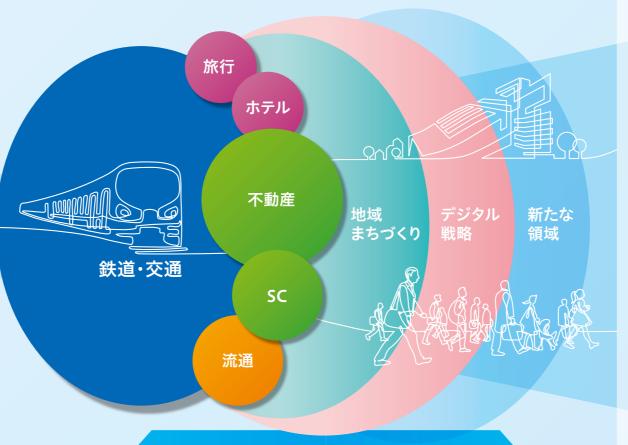
お客様・社会からの 信頼に応え 安心の実現に向け 努力し続ける「力」

> 人・モノ・情報の トラフィックを 創りだす「力」

まち・社会を最適に 再編集する「力」

地域の価値を見出し ともに向上する「力」

豊富なデータから ソリューションを 提供する「力」



サステナビ リティ P.69 \ ガバナンス P.57\ リスクマネジメント P.67 \

事業を通じた 社会的価値創出による 安心・信頼とつながりの向上 サービスタッチポイント/ トラフィック増加による ネットワークおよびインサイトデータ拡充 社会的価値 (地域・社会)

- ●人、まち、社会の活力向上
- ●西日本をはじめとした エリアの魅力向上
- ●持続可能な社会への貢献

経済的価値 (お客様・株主・従業員)

- ●顧客満足度の向上
- ●株主価値の向上
- ●従業員満足度の向上

社会的価値・経済的価値の達成による イノベーション拡大と 従業員の働きがい向上

11 JR 西日本グループ統合レポート 2022